



News Release

2022年2月24日

NITE（ナイト）

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

減少傾向から一転、2年連続事故増加 ～配線器具の火災に注意！！～

1. 事故の発生状況

2016年から2021年の6年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}のうち、配線器具の事故（テーブルタップなど）は、北海道で合計6件ありました。

(1) 年別事故発生件数

年別事故発生件数を表1に示します。

表1 年別事故発生件数（2016～2021年）

発生年度	合計
2016年	1
2017年	1
2018年	3
2019年	1
2020年	0
2021年	0
合計	6

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2016～2021年）^{※2}

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	0
	軽傷	0
物的被害	拡大被害	5
	製品破損	1
被害なし・不明		0
合計		6

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

(※2) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) テーブルタップ

○2016年1月（北海道、70歳代、男性、使用期間約3年、拡大被害）

事故内容：テーブルタップに複数の電気製品を接続していたところ、テーブルタップを焼損する火災が発生した。

事故原因：テーブルタップに液体が浸入したため、内部でトラッキング現象が発生し、出火したものと考えられる。

(2) マルチタップ

○2017年11月（北海道、40歳代、男性、使用期間不明、拡大被害）

事故内容：使用中のマルチタップ付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因：マルチタップの刃受け金具と接続した差込みプラグ刃との間で接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと考えられる。

3. 配線器具の事故を防ぐポイント

- ① 電源プラグ及び電源タップは掃除し、水分やほこりが付着しないよう注意する。
- ② 変形した電源プラグを使用しない。
- ③ 電源コードを引っ張る、机や椅子の脚で踏むなど、無理な力を加えない。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の間い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 鈴木、下川

電話: 011-709-2324